

このままでは人気半落か！

—第7回岡山県移出鶏卵共励会の成績から—

岡山県の鶏卵生産は年間6億4,000万個で、これを金額に換算すると約60億円に上り、畜産物総生産額の半ばを占め、そのうち県外への出荷は昭和37年には総生産量の75%、2.7万トンと推定され、大阪市場への総入荷量の約30%を占めるとみられます。一方最近の農林省統計によっても阪神市場をめぐり各県の鶏卵生産は大きく増加していることがうかがわれ、品質改善の面でも自主的な改善が着々と進められております。このような情勢から今後本県の養鶏を伸す上で、出荷鶏卵の品質改善、計画出荷が販路拡張のためますます重要な度を加えてきています。

折から県畜移出鶏卵の品質を改善するため、さる8月22日から27日までの6日間第7回岡山県移出鶏卵品質荷造改善共励会が阪神消費市場の鶏卵荷受機関で開催され、県下から64団体が参加しましたが、9月17日県畜産課において審査会議が行なわれ総合的に審査の結果その成績がとりまとめられました。つぎにその概要を紹介し、同時に特に出荷販売を伸ばす上での留意点について記してみたいと思います。

なおこの結果成績優秀の組合はつぎの16組合で、表彰式は来る12月に行なわれる予定になっています。

優秀組合

高松町農協、五明養鶏組合、津山市農協西苫田支所、御津町農協、加茂町農協

優良賞

落合町農協、笠岡市農協、奈義町農協、灘崎町農協、行幸農協、新砥農協、鴨方農協、勝北養鶏組合、新野養鶏組合、勝加茂農協、西大寺農協九幡支所

この共励会は毎年鶏卵の品質の低下しやすい7、8月に行なわれるもので今年は7回目として、この7月にできた岡山県養鶏協会が、昨年までの移出鶏卵検査協会にかわり、岡山県との共催で実施されました。

参加組合は1回の出荷量30箱以上の県経済連関係で48農協、美作鶏卵出荷組合関係6組合、西大寺養鶏振興会関係4組合のほか、鶏卵移出商組関係6団

体の計64団体でした。審査は大阪、神戸等の荷受機関へ出荷されてきた荷のうちから抜き打的に任意に1～2ケースを単位として抜き取り、共励会実施要領および別表のような審査基準によって、荷造りの状態、品質の程度が審査員によって審査、記録されました。

今年は表の配点をみていただければわかるように、荷受消費側からの要望の強い品質や鮮度の点にとくに重点を置いて審査されました。鶏卵の外貌では、従来から本県産のものの不十分であった選卵のほか、商品価値を左右する卵殻の状態、新鮮度を表わす卵黄、気室の程度を透光検卵機等を使って綿密に調査し、さらに卵黄、卵白等の内容についても3個あて割卵して観察しました。

審査成績の概要

—望まれる外装と重量 不足の改善—

審査成績のうち項目を追って主な点を拾ってみます。

1、荷造り

外装では10kg入りダンボール外箱の新旧別では、65組合中新箱のものが22組合(34%)、旧箱が43組合(66%)と、2/3が古いものを使用しており、旧箱のうちかなり汚損あるいは材質不良のものが23点も見受けられました。

標識=箱の表面に貼るラベルのちょう付が殆んど片面のみであり、ラベルの剥がれているものが認められました。内容標示のためこれに加入する所定事項の記入状況では、

個数の記入のないもの	1
入数と標示の違っているもの	3
規格の記入のないもの	32
組合名のないもの	7
鉛筆書きのもの	4

が認められ、商品としての鶏卵ということからすれば、このようなものは問題となりましょう。荷受側

岡山畜産便り 1963.11

からの意見ではラベルは両面に、また記入事項は全部統一して、ゴム印アラビア数字とすることが望まれています。

さらに箱のふたを止めているガムテープのちょう付についても、

- 長過ぎてラベル標識にかかるもの 39
- たるみのあるもの 5

などが認められ、総じてこれら外装の点では本県の物は特に見劣りし、同じ倉庫内にある他県産鶏卵の荷姿とは大きな差がみられ、速やかに改善の要があるものと考えられます。

2、内 装

素材＝箱の内容の鶏卵を保護するフラット、フィラー等の材質の状況では、

- 新しいもの 17 (26%)
- 古いもの 48 (74%)
- 材質不良 26
- 汚 損 9
- 波板使用 (規定外) 8

で古いものは堅ろう度や清潔度には特に注意して使用する必用があります。

正味重量＝商品取引の基本となるものですが、つぎのとおり不足するものや 100 g 以上もオーバーするものも認められ、不足していたものが全体の 52% に達することはとくに留意を要する点で、程度のはげしいものは生産者の良心を疑われる問題でもあります。

[不足するもの]

- 200 g 以上 = 1 点、100～199 g = 9 点、50～99 g = 10 点、0～49 g = 14 点、計 34 点

[過ぎるもの]

- 100 g 以上 = 3 点、50～99 g = 9 点、0～49 g = 17 点、計 29 点、過不足なし 2 点

保証票＝箱の中に入れる保証票では、

- 無いもの 7
- 重量の記入のないもの 2
- 個数の " 3
- 責任者名の " 22
- 規格 (大中小) " 18
- 鉛筆書きのもの 16

入卵実数と相違するもの 2

でやはりかなりの不備なものがあり、このような点は、わずかの注意ですぐにでも改善できるものであろうと思われます。

詰め方＝逆詰めの混っているものもかなり見受けられ、程度によって分けてみるとつぎのようで、逆詰め個数 20 個以上のものの中には詰方に全く注意を払っていないと思われるものもあつた。

- 1～4 個のもの 15
- 5～9 " 7
- 10～29 " 10
- 20 個以上 " 16
- 全部正しいもの 17

3、品 質

選卵＝全般的にはかなりよくなっており、農協関係が比較的よいようでありました。しかし全く選別を行なっていないと思われるものが 2 件ありました。

手入れ＝良い組合と悪い組合のものとの差が非常に目につきました。また水洗したと思われるものも若干認められましたが夏場には特に気をつける必要があります。

審 査 の 基 準

掛重量	K	♀	風体重量	K	♀	正味重量	K	♀	標示個数	大	中	小	入筒数	
荷 造 り	外 装	100	素 材	旧箱-30 汚損-40 新箱で汚染-30 材質不良-10										50
			標 識	重量標示のないもの-5 筒数標示のないもの-5 玉区分標示のないもの-5 組合名のないもの-5										20
			寸 法	規格どおりのものを満点とす 10K詰 50×25.1×27										10
	内 装	250	ガムテープ	離脱1カ所について-5 長短-5 たるみのあるもの-5										20
			素 材	卵材質不良-5 古いもの-5 汚染せるもの-5 空牢でないもの-5										20
			正味重量	標示重量に対し過は 100♀ 不足は10♀以上につき10♀毎に-2										80
品 質	500	保 証 票	保証標のないもの-20 保証表に正味重量、筒数、荷造年月日、責任者の記入ないもの各項ごと-5										20	
		詰 め 方	逆詰め1筒について-2										20	
品 質	750	250	サ ー ビ ス	ないもの-10										10
			選 卵	80%以上が2級品質以上のものであること 玉の整-誤差が0.1%以上の1筒につき-2										100
			卵 殻	鶏卵 1ケにつき {薄殻-2 石灰沈着-2 粗剛-2 汚卵-2 破卵-2 ヒビ卵-2 卵形不整-2}										150
			卵 黄	鶏卵1ケにつき位置不正-2 輪かく-2 形状不良-2 異物-5										100
			卵 白	鶏卵1ケにつき不透明-2 軟弱-2 異物-5										50
質	500	気 室	8ミリメートル以上のもの1筒について-5										100	
		拡散面積	} の状況により { A B C										250	
合 計													1,000	
備 考	1. 定時定量出荷の実績も勘案する 2. 上記以外の審査事項については農林省設定、鶏卵取引規格の鶏卵個体の品質標準および鶏卵箱詰の格付標準によるものとする。													

岡山畜産便り 1963.11

卵殻＝薄殻卵、卵殻粗剛、ヒビ卵、卵形不整、破卵、汚卵等の商品価値を著しく損なうものが検査総数の1万233個の卵のうち1,358個、13.3%も認められ、この点、まだまだ改善の努力や工夫が要るものと思われます。

卵黄、気室＝透光検査の結果では、卵黄の位置の動いているものが相当数ありました。また気室の大きさは8mm以内がほとんどで概して良好でありましたが、中には位置がかなり動いているもの、気泡のあるもの等が認められました。これら卵黄や気室の移動は逆詰めと関連があるように思われ、鮮度保持の上からもよくありませんので詰め方にさらに留意が必要であります。

卵内容＝1箱について3個あて割卵検査を実施しましたが、その結果はほぼ良好で、

特級	34個	1級	63個
2級	90個	格外	8個
計	195個		

であり、中には卵黄の色の薄いもの、また異物や血点の認められたものもありましたが、気室の小さいこととともに、鮮度の点ではかなり改善されていると認められました。

以上を通じて特に感じられたのは、外装のよいものは内容も大体良好で、外箱が汚れ標示の不備なものは内容があまりよくないといった傾向で、総体的に云って県産鶏卵は内容の鮮度選別等はかなりよくなっているのに、外装は逆に低下しているようで、この点他県産のものは全部新箱を使用し標示等もよく規定が守られているので、外観において大きく見劣りがしたことであります。内容においては、地元生産の毎日集卵のものに次いで、他県産に劣らない品質のものでありながら、これは誠に残念なことで、重量不足の多いことと共に、生産者の責任として早急に改善を要する点と思われます。

お知らせ

畜産技術（養鶏）講習生の募集について

第9期（昭和39年度）畜産技術（養鶏）講習生を左記要領により、募集いたしております。

詳しくは岡山市田中地先岡山県養鶏試験場へお問い合わせ下さい。

募集要綱

1 募集人員

15名

2 応募資格

養鶏に熱意を有する身体強健、志操堅実な者で、次のいずれかに該当するもの。

(1) 高校卒業者（昭和39年3月卒業見込みを含む）又はこれと同等以上の学力ありと認められるもの。

(2) その他、岡山県養鶏試験場長が適当と認めた者。

3 受験手続

応募者は願書提出期日までに、次の書類を一括して岡山県養鶏試験場長宛に提出すること。

入所願 履歴書（市販のもの）

戸籍抄本 最終学校の成績証明書

医師の健康診断書 各1部ずつ

4 願書受付期間

昭和39年2月1日～2月29日

5 受験通知

選考日までに受験票を郵送する。

6 入所選考

昭和39年3月10日午前10時より養鶏試験場において、一般常識に関する筆記及び面接試験を行う。

7 合格発表

昭和39年3月14日日本宛て

8 入所期日及び入所期間

昭和39年4月1日より1ヵ年

9 その他

(1) 講習内容

養鶏に関する全ての講義及び現場実習により

各種技術の取得を行う。

(2) 手 当

日額1,000円の予定、この他講習終了後農協の養鶏技術員として就職する者には岡山県経済連より月額1,000円が支給される。

(3) 必要経費及び宿舍

食費実費として月額約2,500円（主食を含まず）を要する。講習生は全員寄宿舎に収容する。

(4) 交 通

市内バス、天満屋発（岡山駅経由）野田行、終点下車、徒歩2分。